

「令和7年度 日本大学学生 FD CHAmmit（芸術学部）で提出された意見等への回答書」 の掲載について

日本大学では、FD 活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成 25 年度より、16 学部 95 学科、短期大学部 4 学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生 FD や本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生 FD CHAmmit(ちゃみっと)」を開催しております。全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から 200 名以上の参加者を得て開催しております。

そして、従来は「日本大学 学生 FD CHAmmit」でまとめられた「学部提案書」を基に、学部内で学生と教職員によるミーティングを実施し、「学部提案書に基づく学生への回答書」を作成していましたが、第 13 回目となる令和7年度からは、各学部で問題点や改善点を協議・検討し、学部内で改善できる事項については事前に改善を図った上で、「日本大学 学生 FD CHAmmit」へと集約する方法へと変更となりました。

芸術学部においても、推薦及び公募にて募集した各学年の学生(19名)、FD 委員教員(10名)、事務局各課職員(8名)が参加し、令和7年6月28日に対面で語り合いの場としてのミーティングを実施しました。このミーティングを通して作成しました「学部で対応可能な意見に対する報告書」及び「全学に対する提案書」については、別途、芸術学部ホームページで公開しておりますが、本書は当日参加者から提出された全ての意見等に対し、関係する各学科・芸術教養課程・事務局各課で協議の上、作成した回答書となりますので御覧いただきますようお願いいたします。

今後も芸術学部では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

(参考)

「日本大学学生 FD CHAmmit」って何？

<http://www.nihon-u.ac.jp/fd-center/fd/fd-chammit/>

以 上

令和7年度日本大学学生FD CHAmmit (芸術学部) で提出された意見等への回答書

本回答書は、令和7年6月28日(土)に開催された日本大学学生FD CHAmmit(芸術学部)において、公募及び推薦で集まった芸術学部の各学年の学生19名、教職員18名の参加者により対面で2時間30分程度語り合った意見を全て列挙したものとなりますので、あらかじめご承知おきください。

1 協議の場について

実施日	実施内容
令和7年6月28日(土) 9時30分～12時00分	推薦及び公募で募集した学生、FD委員、事務局各課職員の計37名が、事前に作成したグループで対面形式にてディスカッションを行い、学部で改善可能な意見については「学部で対応可能な意見に対する報告書」として事前に本部へ提出するとともに改善を進め、学部単独では改善できない意見、学部にとどまらず全学への提案が必要な意見については、「全学に対する提案書」として、日本大学学生FD CHAmmit 当日に向けて事前に本部へ提出する。

2 当日提出された意見等への回答

① 奨学金(給付型)を増やして欲しい

意見に関する理由・経緯	現在の給付型の奨学金は親の所得によって給付されるか左右されることが多いので、他の条件で取得できるような奨学金を増設して欲しい。
回答者	学生課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ 不可 芸術学部では経済困窮の他に「優れた業績」「家計急変」「協定先への留学」「个性的で創造豊かな活動」への奨学金を設置している。経済困窮に対する奨学金については、経済状況については学費支弁者の収入によって判定を行っているため、大半が親の所得によって判定される。

② 学外での活動を応援してほしい

意見に関する理由・経緯	学外での制作や発表は授業の延長の部分もあるので、応援してもらいたい。学外での活動をしなさいと言われるが、やったら応援はされない。
回答者	学生課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ 不可 芸術学部の公認団体，準公認団体については，一定のルールのもと補助金を出している。学外での制作や発表は各学科での対応事項であるため，学生課では回答不可。

③ 学食・購買・パン販売について

意見に関する理由・経緯及び回答内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スペース狭い！⇒対応済み・対応中・不可 ・応援ランチの数が少ないのでAランチになっちゃった人との格差が不満！⇒対応済み・対応中・不可 ・券売機の数が少ない！⇒対応済み・対応中・不可 ・キッチンカーが高い！⇒対応済み・対応中・不可 ・メニューが重たい！ジャンクすぎる！リーズナブルなメニューの提供数が少ない！⇒対応済み・対応中・不可 ・購買は営業時間が短く，利用しにくい（18時くらいまで利用できるようにしてもらいたい）⇒対応済み・対応中・不可 ・昼休みにA棟でのパン（食品）を再開して欲しい（A棟は食堂等から遠く昼食の調達が難しいため）⇒対応済み・対応中・不可
回答者	学生課
回答理由	今後対応について検討していく。

④ 日芸祭の改善について

意見に関する理由・経緯	<p>「日芸の芸祭はよくない」という声をよく聞く。それは，5美大の中で最も日々の活動が見えにくい展示方法をとっているからだと思う。</p> <p>特に改善すべき点は，中庭であると考え。サークルの食販も悪くはないが，来場者に最も目に入る位置に，高額な食品販売があり，日々の活動である作品を売る場などが校舎の高層階にあるのはおかしいと感じる。他の美大は最も見える位置に沢山の学生の作品が売ってある。また，実際に大学にいと，サークルの人たちが「芸祭でお金を稼がない？」と話していたり，学生が「お金稼ぎのために芸祭用のチームを作ろう」と話しているのを耳にする。</p> <p>芸術大学として，様々な受験生や外部の人々が来場する芸祭が日々の作品を見せる場ではなく，サークルのお金儲けの場になっている</p>
-------------	--

	ことと、それを学生課が改善しようとしていないのは不思議だ。受験は日芸の貴重な財源確保であるし、近年は少子化と不祥事で志望者数が減ってきている。受験生を増やすためにも芸祭の改革を図るべきだと思う。
回答者	学生課
回答内容及び回答理由	対応済み・ <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> ・不可 引き続き対応について検討していく。

⑤ 学科横断のクリエイティブ・スペースや、日芸独自の交流を促すイベントの創出

意見に関する理由・経緯	・学科間の交流，また留学生との間の交流機会がさらに求められるため。 ・学部内行事(七夕・冬祭)から更に増やして欲しい。
回答者	学生課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ <input checked="" type="checkbox"/> 不可 今後対応について検討していく。

⑥ 留学生対象の授業料減免の手続きを簡単にしてもらいたい

意見に関する理由・経緯	授業料減免書類審査書類審査が厳しすぎて心が折れるほどである
回答者	学生課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ <input checked="" type="checkbox"/> 不可 現行制度ではマイナンバー及び課税証明書を利用した判定ができないため証明作業が煩雑にならざるをえない。

⑦ 学生の要望を吸い上げる意見箱の設置

意見に関する理由・経緯	前はあった意見箱がなくなっている
回答者	学生課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ <input checked="" type="checkbox"/> 不可 今後対応について検討していく。

⑧ 制作プロセスに寄り添った学生サポート体制の強化

意見に関する理由・経緯	実習授業の制作過程を理解した上で相談できる相手が必要。現状の相談室だけでは対応しきれない量の問題が噴出している。不眠，
-------------	---

	心身不調，メンタルの問題など。
回答者	学生課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ 不可 心身の不調等については，保健室や学生支援室で相談することは可能であるが，授業の詳細については学科あるいは担当教員しか把握しえないため，学科の事務室，専任教員もしくは授業担当教員へオフィスアワー等での相談が望ましい。

⑨ 履修登録をより柔軟にして欲しい

意見に関する理由・経緯	登録期間の短さ，1回目の授業を受けていないと登録不可の授業も，受けられない場合のために1回目の授業を録画視聴できるようにするなどの対応が欲しい。
回答者	教務課
回答内容及び回答理由	対応済み・ 対応中 ・不可 履修登録・変更期間については授業3回目の週に1週間程度設けていたが，カリキュラム変更に伴い，従来の日程設定だと授業運営に支障をきたすため，授業2回目の週が終了するまでに履修登録期間が終了するよう履修登録期間の前倒しと数日間の短縮を検討している。 また録画に関しては，授業で取り扱う内容によっては著作権等の都合もあり，フルオンデマンド科目を除く全ての科目を録画することは難しい。

⑩ 履修の検討する際の授業紹介の動画が欲しい

意見に関する理由・経緯	シラバスを読むが，先生がどんな人なのかも知りたい。シラバスと違う内容をする先生もいるからガイダンスの前に知りたい。1週目にガイダンスを出てしまうと他の授業に変更するにも2週目に移動するのも難しい。
回答者	教務課，写真学科，映画学科，美術学科，音楽学科，文芸学科，演劇学科，放送学科，デザイン学科，芸術教養課程
回答内容及び回答理由	【教務課】 対応済み ・対応中・不可 「先生がどんな人なのか」が人柄を指すのか，業績等を指すのか判断しかねる。基本的に履修科目の検討については，シラバスにより授業内容を確認後，第1回目の授業を受けて，実際に履修するか否か判断してもらう想定。興味のある科目は全て第1回目の授業から出席するようガイダンス・ガイダンスサイトで説明済みであり，年間履修登録単位の上限まで履修しなければならない決まりではないので，「他の授業に変更」は次学期以降における履修も

併せて検討してもらいたい。また、シラバス以外については学部ホームページ内各学科ページにおいて紹介されている場合があり、専任教員の研究業績等については日本大学研究者情報システムを参照する等してもらいたい。非常勤講師についても著名な方等はインターネット等でどのような業績を持っている方なのか調べられる場合がある。

【写真学科】 対応済み・対応中・不可

写真基礎演習Ⅲやゼミナールは授業紹介動画を作成しており、事前に参照するよう促している。その他の科目に関しては、今後検討していきたいと考える。

【映画学科】 対応済み・対応中・不可

学科だけでは対応できない。

【美術学科】 対応済み・対応中・不可

履修を検討する際の授業紹介を兼ねてのガイダンスとなるため、シラバスに加えさらに紹介動画となるとあまり効果がないように思われる。

【音楽学科】 対応済み・対応中・不可

こうしたご要望は、履修のミスマッチを防ぐ上でも非常に有意義であると感じている。現時点ではすぐに用意することは難しい状況が、可能な範囲で、簡単な紹介動画や担当教員によるメッセージなどの形式で対応できないか、今後学科内でも検討していく。

【文芸学科】 対応済み・対応中・不可

文芸学科では、「研究室訪問」と題した動画を、動画サイト「ユーチューブ」で公開するなど、情報公開に尽力している。以前は、一部教員による自主的な授業公開もなされていた。今後は各教員のみならず、各授業の紹介動画を公開することについても、検討の余地があると考えます。

【演劇学科】 対応済み・対応中・不可

シラバス通りに授業を行うようお願いしている。これ以上事前に何かを非常勤の先生含め依頼しないといけないとなれば、教務課との相談が必要だと考える。

	<p>【放送学科】 対応済み・対応中・不可 学科としてはシラバス通りに授業するよう先生方にはお願いしている。外部からいらっしゃる非常勤教員も多く動画作成は授業外の負担になるため難しい。</p> <p>【デザイン学科】 対応済み・対応中・不可 対応を検討中</p> <p>【芸術教養課程】 対応済み・対応中・不可 順次検討中。ただし本学部は非常勤講師が多く，①労働条件（事前の動画作成に関わる追加契約が必要），②授業開始までの準備期間が短い等の課題あり。2025年度は希望教員のためのパイロット撮影（モデルケース提示）を行い，実施可否と負担軽減策を検証する予定。ただし，本格的な実施は約束できない状況である。</p>
--	---

⑪ 成績評価について透明性を持ってほしい

意見に関する理由・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の学生に対してひいきを感じることもあるため。 ・学生によって態度を変える先生がいる！改善してほしい！ ・試験の点数が不透明，きちんと開示してほしい。
回答者	教務課，写真学科，映画学科，美術学科，音楽学科，文芸学科，演劇学科，放送学科，デザイン学科，芸術教養課程
回答内容及び回答理由	<p>【教務課】 対応済み・対応中・不可 各科目の成績評価方法に関してはシラバスに明示している。成績に関する不明な点について履修学生から担当教員に問い合わせることを妨げてはいない。その他授業運営等について疑義がある場合は授業評価アンケートの問い合わせフォーム宛てに記載してもらいたい。</p> <p>【写真学科】 対応済み・対応中・不可 特にひいきをしたり，対応を変えているつもりはないはずだが，より公平な対応に努める。試験の点数の開示については学校全体での検討かと思われる。</p> <p>【映画学科】 対応済み・対応中・不可 映画学科ではそのような意見は見られなかった。また，採点や成績の透明性は別の問題であり，もしも疑義があれば授業担当者が誠実に対応するものと考えている。</p>

【美術学科】 対応済み・対応中・不可

成績はシラバスに基づき公平に評価している。不明点があれば各教員または学科で対応する。学生対応については、各教員が公平性に配慮しているが、より一層公平な対応が行われるよう周知していく。

【音楽学科】 対応済み・対応中・不可

「一部の教員が学生によって態度を変えているように感じる」「特定の学生がひいきされているように見える」といったご指摘については、教育の公平性に関わる重要な問題であり、すでに学科として教員に対し、改めて注意喚起を行った。皆さんが安心して学べる環境を守るため、今後も継続して改善に努めていく。また、「試験の点数が不透明で、もっと開示してほしい」との声についても、評価の透明性は非常に大切な点と認識している。採点・評価については各授業の担当教員の裁量に任されているが、試験後に点数の内訳や採点基準について説明を求められた場合には、可能な限り対応するよう教員に周知していく（メールにて周知済み）。

【文芸学科】 対応済み・対応中・不可

文芸学科では、幾つかの授業について、成績評価の明確な基準を示している。ただし、点数化できないもの——レポートにおける本筋とかかわりのない創造的発見であるとか、グループワークにおける非言語的・補助的な振る舞いといったもの——を大切に扱うのが、芸術教育において肝要であるとも考える。過度な言語化・数値化は、学生の固有のよさを否定することに繋がる恐れもあると考える。

文芸学科では各教員が、成績評価についての質問・異議には柔軟に対応している。

いかなる評価をなすにせよ、その理由を問われたら答えられる準備を各教員がしておくことが、こうした不満への最大の回答であると考えます。

【演劇学科】 対応済み・対応中・不可

シラバスに配点を書いて、その通りに採点しているはずだと信じる。

【放送学科】 対応済み・対応中・不可

	<p>【デザイン学科】 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済み・対応中・不可</p> <p>学生対応の公平性については学科会議において注意喚起を行った。採点の透明性について、デザイン学科では課題作品の講評会等を通じて作品に対する評価を公表しているが、最終的な成績の点数を開示することは行なっていない。</p> <p>【芸術教養課程】 対応済み・<input checked="" type="checkbox"/> 対応中・不可</p> <p>FD 委員会で「評価ルーブリック例」を共有し、教員にシラバス上での評価基準明示を推奨できるか検討する。</p>
--	--

⑫ 現在の授業やカリキュラムについての意見

意見に関する理由・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと実験的な授業を設けてほしい。他学科コラボ授業は楽しいのもっと増やしてほしい。 ・生成 AI の使用を否定する先生がいるが、それってどうなんでしょう？
回答者	教務課，写真学科，映画学科，美術学科，音楽学科，文芸学科，演劇学科，放送学科，デザイン学科，芸術教養課程
回答内容及び回答理由	<p>【教務課】 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済み・対応中・不可</p> <p>「実験的」の定義がされていないため、回答は難しい。「他学科コラボ」に関しては「連携型プロジェクト」や他学科公開科目の履修を検討していただきたい。大学としての授業における生成 AI 使用に関する取扱はポータルサイトにて「試験等における不正行為について・授業における生成 AI ツールの使用について」として周知しているため対応済みである。</p> <p>【写真学科】 対応済み・<input checked="" type="checkbox"/> 対応中・不可</p> <p>他学科コラボの授業に関しては、過去にカリキュラムを 2 割削減の大学対応の問題で出来なくなった経緯がありますので、大学側の対応次第である。まずは自学科の充実が先決かと思われる。とはいえ少しずつ増えている状況だと捉えている。また、「実験的」については検討をしている。さらに、生成 AI については否定をしてはいないし、写真と大きな関わりがあると考えている。しかし著作権などの様々な問題があるため、難しい課題である。今後も引き続き検討していく。</p> <p>【映画学科】 対応済み・<input checked="" type="checkbox"/> 対応中・不可</p> <p>十分とは言えないが、映画学科では連携プロジェクトへの積極的</p>

参加や、音楽共同制作などの学科横断授業にも取り組んでいる。また、生成AIの使用については、大学として周知されている「試験等における不正行為について・授業における生成AIツールの使用について」を原則とするが、技術の発達に鑑みながら今後も検討を重ねていく。

【美術学科】 対応済み・**対応中**・不可

他学科連携について、芸術学部は連携型プロジェクトや学部内イベントが充実しているため、そういった機会を積極的に活用し学びに活かしてほしいと考えている。生成AIの使用に関して、生成AIの活用を特に否定はしないが、著作権の侵害や自身の表現力を損なわないよう慎重な使用を求めている。

【音楽学科】 対応済み・**対応中**・不可

「もっと実験的な授業を設けてほしい」「他学科とのコラボ授業をもっと増やしてほしい」とのことだが、学びの幅を広げたいという積極的な姿勢からの貴重な提案として受け止めている。コラボ授業は大変有意義である一方、専任教員の業務負担も大きく、すぐに新たな授業を増やすのは難しい面がある。ただし、他学科との連携や新しい形の授業の可能性については、引き続き模索・検討を続けていく。

また、「生成AIの使用を否定する先生がいる」というご意見だが、生成AIは学びの補助として有効なツールである一方、使い方を誤ると理解の浅さや依存を招く可能性もある。授業によっては使用に制限があることもあるが、それぞれの教員の教育的意図に基づくものなので、ご理解願いたい。

【文芸学科】 対応済み・**対応中**・不可

「実験的な授業」の定義が判然としないので回答できない。「生成AIの使用を否定する先生がいるが、それってどうなのでしょう」も、文意が明瞭でないため回答できない。

生成AIの取り扱いについては、各大学・各教員によって異なっているため、教員がAIに否定的な考えを示すことが、問題に当たるとは考えない。

AI問題については開かれた議論がなされてゆくべきであり、「それってどうなのでしょう」といった「皮肉」な物言いは、問題解決をかえって遠ざけるものとも考えられる。

	<p>【演劇学科】 対応済み・対応中・不可 「実験的な授業」とは何をもって言っているのでしょうか？ 演劇学科は他学科公開の実習授業を始めている。ただし、舞台に関する安全管理面での教育を履修していない学生にオープンにできない実習授業もあることは理解してほしい。生成AIについてはうまく使えるようにするための授業が必要であると考え。</p> <p>【放送学科】 対応済み・対応中・不可 一部授業でお互いの学科の専門性を生かした共同制作を行うなどし、可能な範囲でコラボを行っている。</p> <p>【デザイン学科】 対応済み・対応中・不可 デザイン学科は他学科とのコラボを積極的に行なっている。AIについても昨年度にシンポジウムを学科内で開催するなどして、正しい利用促進を図っている。</p> <p>【芸術教養課程】 対応済み・対応中・不可 次期カリキュラム改訂にて「学科横断型科目」や「芸術総合講座」の精査を検討中。2026年度に向けて引き続き事例収集を進行中。</p>
--	---

⑬ プロジェクトの公募をして欲しい

意見に関する理由・経緯	プロジェクトがあっても教授が声かけした人で決まってしまうことが多い。連携プロジェクトの改善して欲しい。プロジェクトのお知らせの情報が分散していてポータルサイト、クラスルーム、ホームページなど分散しているので一元化してプロジェクト公募で関われる学生にチャンスを増やして欲しい。
回答者	教務課
回答内容及び回答理由	対応済み・ 対応中 ・不可 より効果的な周知方法と、連携型プロジェクト等を中心により多くの学生が関わる機会を増やせるよう検討していく。

⑭ 卒業生の論文や作品のアーカイブ

意見に関する理由・経緯	学科ごとの管理でアクセスしにくい。専門性が高まった時点で先行研究に触れられる機会が必要である。
回答者	教務課、写真学科、映画学科、美術学科、音楽学科、文芸学科、演劇学科、放送学科、デザイン学科
回答内容	【教務課】 対応済み・ 対応中 ・不可

<p>及び 回答理由</p>	<p>学科をまとめるアーカイブ化は非常に困難であるが、日藝博覧会の充実化を検討・推進していくことで、アーカイブに触れる場を設ける。</p> <p>【写真学科】 対応済み・対応中・不可 本学科では自学科の学生に対し、全作品に対してではないが卒業制作に触れる機会がある。他学科への公開は要検討か、まとめサイトなどであれば学部全体での対応が必要になるかと思われる。</p> <p>【映画学科】 対応済み・対応中・不可 学科だけでは対応できない。</p> <p>【美術学科】 対応済み・対応中・不可 美術学科 HP にて卒業制作の公開や在学生、卒業生の活動情報を積極的に発信している。芸術学部の HP から学科 HP へアクセスできるので、ぜひ一度ご覧いただきたい。</p> <p>【音楽学科】 対応済み・対応中・不可 卒業論文、卒業制作に関しては音楽学科に設置している iPad から閲覧できるようになっているが、卒業演奏に関しては演奏という性質上全員の公開が難しく、現時点では公開する予定はない。</p> <p>【文芸学科】 対応済み・対応中・不可 文芸学科生の卒業作品・論文の中には、創作的・研究的に極めて有意義なものも多く見られるため、多くの人間がアクセス可能な状態になることは望ましいことと考える。 ただし、「公開を望むか否か」の同意確認の方法や、日大の図書館でしかアクセスできないようにするなど、セキュリティ的な配慮が必要になってくるものと思われる。</p> <p>【演劇学科】 対応済み・対応中・不可 これに関しては現在はスペースが許す限り、学科内で数年間の優秀論文は閲覧できるようになっている。また、卒業制作や総合実習などは映像もアーカイブしている。学部との相談で公開可能です。</p> <p>【放送学科】 対応済み・対応中・不可 学科の特性上、著作権などの問題で公開できない作品や論文もあ</p>
--------------------	--

	<p>るが、制作・執筆した学生本人をはじめ、各方面から公開の許諾が得られたものに関しては、学科 HP や YouTube チャンネルで公開を始めている。</p> <p>【デザイン学科】<input checked="" type="checkbox"/>対応済み・対応中・不可 各年代の卒業作品集を制作しドキュメント化されている。</p>
--	---

15 教室や機材の利用をより柔軟に認めてもらいたい

意見に関する理由・経緯	<p>機材使用ができる基準を明確にしてもらいたい。空いている教室があれば使用届をより柔軟に対応してもらいたい。個人利用が OK な場合とダメな場合があるので、その背景を知りたい。</p>
回答者	<p>写真学科，映画学科，美術学科，音楽学科，文芸学科，演劇学科，放送学科，デザイン学科</p>
回答内容及び回答理由	<p>【写真学科】対応済み・<input checked="" type="checkbox"/>対応中・不可 ストロボなど「学科主催の講習を受ければ使用できます」など掲示している（本学科の学生に対してのみ）。また、学科の空き教室は皆無なので貸出ができない。なお、スタジオや暗室などの実習施設は本学科の学生にしか対応できる程度の数しかないが、授業に影響のない範囲で貸し出している。</p> <p>【映画学科】<input checked="" type="checkbox"/>対応済み・対応中・不可 映画学科での使用基準は明確である。</p> <p>【美術学科】対応済み・対応中・<input type="checkbox"/>不可 美術学科における機器の使用にはその危険性や専門性から明確に基準がある。どうしても使用したい場合は個別に対応を行なっているので、まずは相談に来ていただきたい。</p> <p>【音楽学科】対応済み・対応中・<input type="checkbox"/>不可 「機材使用の基準をもっと明確にしてほしい」「空いている教室について使用届をより柔軟に対応してほしい」という要望について、現在、機材や教室は、基本的に授業や公式行事に使用する前提で購入・管理されており、また急な授業変更等にも対応できるよう、常に一定の空き状況を確認しておく必要がある。そのため、学生の皆さんが個人やグループで使用される場合には、用途や内容に応じた申請・確認が必要となる。特に機材に関しては、高額であることや破損・紛失リスク、技術サポートの要否といった事情か</p>

	<p>ら、授業・公式活動以外での使用には、より慎重な判断が求められる。安全性・保守管理の観点から、貸し出しには一定のルールと手続きが必要となることから、変更の予定はない。ご理解願いたい。</p> <p>【文芸学科】対応済み・対応中・不可 文芸学科は出版編集室にプリンター等の機材を備えるが、文芸学科教員の授業準備や文芸学科生のゼミ雑誌編集等のために用いられている。 サークル等への貸し出しはしておらず、今後ともその予定はない。理由として、サークルに貸し出した際にトラブルが起きた事例があることや、メンテナンスやインク・紙代は学科予算で購入していること等が挙げられる。</p> <p>【演劇学科】対応済み・対応中・不可 安全管理に関する授業を履修していない学生が使用することに困難がある機材やツール、空間などがある。演劇学科には技術員がないので専任の労働時間が許す限りにおいて対応している。</p> <p>【放送学科】対応済み・対応中・不可 学科の教室や機材は柔軟に対応している。一般教室の貸し出しは手間がかかりすぎる（具体的には学生が教務課で事前予約した後担当教員の所に行き、書類を作成して提出、など）</p> <p>【デザイン学科】対応済み・対応中・不可 空いている教室はオープンにしている。大型プリンター、3Dプリンター、工房についても一定のルールに基づいて学生に開放している。</p>
--	--

⑩ 授業計画（シラバス）やカリキュラムについては、公示されている内容を踏まえて授業を進めてほしい。

意見に関する理由・経緯	示された内容と異なり、変更の際して丁寧な説明がないため。
回答者	写真学科、映画学科、美術学科、音楽学科、文芸学科、演劇学科、放送学科、デザイン学科、芸術教養課程
回答内容及び回答理由	<p>【写真学科】対応済み・対応中・不可 写真学科の全科目に対しシラバスには、「シラバスはあくまでも授業計画であり、学修習熟度はもちろん、社会状況などにより、必</p>

ずしも計画通りに進まないことをご承知おきください」としている。各授業で変更になる際にはより丁寧な声かけをするよう促すよう心掛ける。

【映画学科】対応済み・**対応中**・不可

映画学科ではかなり厳密にシラバスのチェックを行っているが、計画の変更が出た場合には、受講生に向けて、より丁寧に説明すべきであり、学科としても周知徹底していきたい。

【美術学科】**対応済み**・対応中・不可

原則全ての授業はシラバスに沿って進められていますが、今後も授業内容の乖離がないよう各教員へ周知していく。

【音楽学科】対応済み・**対応中**・不可

原則として、すべての授業はシラバスに基づいて計画されているが、授業の実際の進行においては、学生の理解の状況やクラスの進度、質疑応答の内容などに応じて、順序や配分を調整する必要がある。ただし、そうした変更がある場合には、学生の皆さんに対して事前またはその場で丁寧に説明を行うことが必要であると、我々教員一同も改めて再認識している。説明が不足することのないよう、各教員に周知済みである。

【文芸学科】対応済み・**対応中**・不可

文芸学科では、授業名やシラバスの内容に沿った授業を進めていくことを心がけている。一方、創作とはそもそも領域横断的なものであり、かつ時事的なものでもあると考える。たとえば、その年の受賞作や象徴的な事件等によって、授業内容が柔軟に変更されることは、あってよいことと考える。

ただし指摘にあるように、「丁寧な説明」が求められることについては、教員側も自覚する必要があるだろう。

【演劇学科】対応済み・**対応中**・不可

専任、非常勤に年度頭にシラバスに沿った授業進行をお願いしている。変更に関しては学生に事前に周知と計画変更を案内するようになっている。

【放送学科】対応済み・**対応中**・不可

	<p>【デザイン学科】 対応済み・対応中・不可 学科会議においてシラバス内容を変更する場合は丁寧な説明をするように注意喚起した。</p> <p>【芸術教養課程】 対応済み・対応中・不可 主任経由で教員に対し「シラバス記載内容に沿った授業運営」と「変更時の事前周知」を周知する予定。次年度シラバス作成ガイドラインにも明記予定。</p>
--	--

⑰ NUストレージを増やして欲しい

意見に関する理由・経緯	Google クラウドの活用を考えると Box ではなく Google ドライブの NU ストレージを増やして欲しい。
回答者	庶務課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ 不可 学部ではなく法人としての方針なので学部での個別対応はできない。

⑱ 授業のあり方について

意見に関する理由・経緯	実技系の授業が無くなるのはどうなのか。その学科である意味や、勉強したい幅が狭まってしまう。
回答者	音楽学科
回答内容及び回答理由	<p>対応済み・対応中・不可</p> <p>ご意見をありがとうございます。実技系の授業が減っていくことに対するご不安やご懸念は、もっともなことだと受け止めている。ご指摘の件については、来年度（2026年度）からの新しい学則に基づき、音楽芸術コースのカリキュラムが一部見直されることになった。その中で、オーケストラ・吹奏楽・オペラといった一部の実技系の授業は、来年度以降の新生入生に対しては開講されなくなる予定である。これは学科としての方向性や教育資源の集中の観点から、学部長を中心とした議論の上で決定されたものである。ただし、すでに入学している皆さん（令和7年度入学生を含む）については、これまで通り在学中はこれらの授業が開講される。また、個々の実技やアンサンブルの学びが不十分になることがないように、他の授業や学修機会を充実させる方向で体制整備を進めている。</p> <p>皆さんの学修の幅が狭くならないよう、今後も意見を伺いながら、新たな魅力を備えた学科・コースにしていく所存である。</p>

⑱ 特定の学科に関するややデリケートな事案について

<p>意見に関する理由・経緯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間のコミュニケーションができていなくて学生が不安に感じる。 ・学生の都合を考えず先生が勝手に補講を決めることは改善してほしい。 ・入試の実技試験評価が不平等ではないかと感じた。 ・ピアノの調律ができていない！音がめちゃめちゃで困る！
<p>回答者</p>	<p>教務課，音楽学科</p>
<p>回答内容及び回答理由</p>	<p>【教務課】対応済み・対応中・不可 現在，学部執行部レベルで問題の共有中である。</p> <p>【音楽学科】対応済み・対応中・不可 まず、「教職員間のコミュニケーション不足」に関してだが，これは私たち教職員も課題として認識しており，情報共有のあり方や意思決定のプロセスに改善の余地があると考えている。学生の皆さんに混乱や不安を与えてしまうことがないように，今後はより慎重かつ丁寧な運営に努めていく。また，疑問やおかしいと感じることがあれば，遠慮なくお知らせ願いたい。</p> <p>次に，「補講の日程」についても，学生の都合を十分に確認せずに決定されてしまうケースがあるというご指摘，不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。補講は学修機会の確保という意味で重要ではあるが，皆さんの予定や負担を踏まえた調整が不可欠である。今後は原則として，学生との相談を踏まえた上で補講を設定するよう，教員間で徹底していく。（周知済み）</p> <p>「練習棟のピアノの調律」についてだが，現在音楽学科では限られた予算の中で，年間2回の定期調律を実施している。ご指摘の通り，練習棟は建物自体の空調設備が古く，湿度管理が難しいため，ピアノの調律が不安定になりやすい環境であることは否めない。そのため，日常的にできる対策として，使用後は必ず扉を閉めるなど，湿度変化を抑えるためのご協力を学生の皆さんにもお願いできればと考える。また，現在，一部のグランドピアノ設置室には湿度調整器を導入しており，今後の予算状況を見ながら，他の部屋への導入も検討していく（対応中）。引き続き，より良い練習環境の整備に努めていくので，何か気になることがあれば遠慮なくご意見をお寄せ願いたい。</p> <p>「入試の実技試験の評価」についても，不安にさせてしまったことを重く受け止めている。入試は公平性・透明性が最も重視され</p>

	<p>るべきものであり、選考においては複数の教員による評価や基準の明確化など、公平性を保つ工夫を常に行っている。それでも、外部から見えにくい部分があるために疑念が生じてしまうことも理解している。今後は、そうした不安を生まないよう、教職員一同あらためて襟を正して取り組んでいく所存である。</p>
--	---

⑳ 大学の設備の充実と教育環境の整備について

意見に関する理由・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・作業スペースを増やして欲しい。 ・所沢校舎の有効活用などを検討してもらいたい。 ・水分補給は健康に関わるので冷水機や自動販売機を増やして欲しい。 ・西棟のエレベーターが停まると大きな荷物が運べず困る，授業に間に合う時間に移動できないので2～4限の人が混む時間帯だけでも動かして欲しい。 ・長期休暇中の学校の利用を制作のためにお願いしたい。管理が厳しすぎて学校を利用できない。 ・オンライン授業の受講する部屋を用意して欲しい。 ・学習スペースが足りないと感じる（24時間勉強できる場所がほしい） ・中ホールとか小ホールとか授業の隙間でも学生に自主制作にて使わせて欲しい。 ・西棟荷物用エレベーターを常時稼働させてほしい！ ・授業目的プリンターをもっと学内各所に設置してほしい！（できればモノクロは無料で） ・エアコンの設定温度を勝手に変えられてしまうのは今の時期悲惨です！ ・エアコンの設定温度が高いと学習への集中力も削がれるため，学生の学修効率と電気代の天秤にかけないでほしい。 ・Wi-Fiのカバー範囲が狭すぎる。接続が弱い。（A棟地下2階も使えるようにしてもらいたい） ・保健室の場所が分かりにくい！ ・自販機をもっと増やしてほしい！ ・喫煙所にテントや屋根が欲しい。他の中庭のベンチにもテントや屋根が欲しい。 ・国際交流スペースがほしい
回答者	学生課，教務課，庶務課，管財課
回答内容及び	<p>【学生課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水分補給は健康に関わるので冷水機や自動販売機を増やして欲

<p>回答理由</p>	<p>しい➡対応済み・対応中・不可</p> <p>2024年度に食品自販機，飲料自販機ともに増やしたが，今後対応について検討していく。</p> <p>・保健室の場所が分かりにくい！➡対応済み・対応中・不可</p> <p>今後対応について検討していく。</p> <p>・自販機をもっと増やしてほしい！➡対応済み・対応中・不可</p> <p>2024年度に食品自販機，飲料自販機ともに増やしたが，今後対応について検討していく。</p> <p>・喫煙所にテントや屋根が欲しい。他の中庭のベンチにもテントや屋根が欲しい。➡対応済み・対応中・不可</p> <p>今後対応について検討していく。しかしながら，そもそも改正健康増進法（2019年7月1日施行）により大学の敷地内は禁煙であるため，喫煙所にテントや屋根をつけることは不可である。また，その他の場所（中庭やベンチ）にも屋根をつける案は出たことはあるが，建築基準法により不可である。</p> <p>【教務課】</p> <p>・オンライン授業の受講する部屋を用意して欲しい。</p> <p>・学習スペースが足りないと感じる（24時間勉強できる場所がほしい）</p> <p>➡対応済み・対応中・不可</p> <p>AB-102 教室及び AB-103 教室を開放しており，これらの周知を促進する。ただし，24時間は入構管理等の都合により不可である。</p> <p>・国際交流スペースがほしい</p> <p>➡対応済み・対応中・不可</p> <p>芸術教養課程，外国語研究室と連携の上，国際交流の在り方について現在検討中である。</p> <p>【庶務課】</p> <p>・Wi-Fi のカバー範囲が狭すぎる。接続が弱い。（A 棟地下2階も使えるようにしてもらいたい）</p> <p>➡対応済み・対応中・不可</p> <p>A棟地階の Wi-Fi は導入済ですが，一部 AP に不具合が判明したため。</p>
-------------	---

	<p>【管財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業スペースを増やしてほしい➡対応済み・対応中・不可 限られた敷地・スペースであることから、既設備品等の配置見直し・整理整頓について学科へ要請する必要があるが、具体的にどの学科からの要請であるか不明であり、検討が困難である。 ・所沢校舎の有効活用などを検討してほしい ➡対応済み・対応中・不可 正課授業か課外活動か不明、かつ具体的な用途が不明であり、検討が困難である。 ・西棟のエレベーターが停まると大きな荷物が運べず困る。また、西棟荷物用エレベーターを常時稼働させてほしい。 ➡対応済み・対応中・不可 大型エレベーターのことを指していると推量するが、その用途は大型の荷物を運搬することであり、都度各学科からの要請に基づき稼働させている。 ・西棟のエレベーターについて授業に間に合う時間に移動できないので2～4限の人が混む時間帯だけでも動かして欲しい。 ➡対応済み・対応中・不可 現在検討中である。 ・エアコンの設定温度を勝手に変えられてしまうのは今の時期悲惨です。また、エアコンの設定温度が高いと学習への集中力が削がれるため、学生の学習意欲と電気代を天秤にかけないでほしい。 ➡対応済み・対応中・不可 夏季は原則26℃設定としており、学生の健康管理にも配慮した室温である。電力需要の逼迫状況となっても26℃以上には変更していないので、御理解願いたい。
--	--

⑳ 点字ブロックなどバリアフリーに対応したものについての気遣いができていない

意見に関する理由・経緯	撮影機材や展示品が平気で置かれているため。
回答者	写真学科，映画学科，美術学科，音楽学科，文芸学科，演劇学科，放送学科，デザイン学科，芸術教養課程

<p>回答内容 及び 回答理由</p>	<p>【写真学科】 対応済み・対応中・不可 本学科では現時点までは外での展示はしていない。また実習中に関しては教員の指導のもと行っているので、このようなマナー違反の事例はないと思われるが、今後とも注意していく。</p> <p>【映画学科】 対応済み・対応中・不可 教職員はもちろん、学生の意識向上に努めたい。</p> <p>【美術学科】 対応済み・対応中・不可 展示作品は大学に申請の上で展示している。また、学科では個別の事情に応じて柔軟に対応しているので、不安なことや配慮が必要な場合は気軽に相談いただきたい。</p> <p>【音楽学科】 対応済み・対応中・不可 貴重なご意見をありがとうございます。点字ブロックをはじめとするバリアフリー設備への配慮が十分でなかった点について、深くお詫び申し上げます。現時点では練習棟入り口のバリアフリー化を検討しています。</p> <p>【文芸学科】：不可 撮影機材などが点字ブロックに置かれていることがある、という指摘があった。 文芸学科では、大きな機材は機材庫・倉庫などに保管しているため、問題はないものと思われるが、「気遣い」の大切さについては、一人一人が芸術生活をとおして涵養していくことが必要だろう。</p> <p>【演劇学科】 対応済み・対応中・不可 バリアフリー法施行前の建物であり、階段があったり、不満足な部分はあるが、施設管理費用とのバランスで、管財課と相談しつつ、なるべく対応できるものは対応していきたいと考えている。</p> <p>【放送学科】 対応済み・対応中・不可</p> <p>【デザイン学科】：対応済み 聴覚障害をはじめこれまでも特別な配慮を必要とする学生については個々に対応してきている。</p>
-----------------------------	---

② TAのタイムカードを正門以外でできるようにしてほしい。

意見に関する理由・経緯	TA後に授業が入っていると、南棟から正門が遠くて遅刻してしまう。
回答者	庶務課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・ 不可 本人にタイムカードを配布することも可能だが、紛失リスク等(再発行費用は個人負担)を考えると、現状では本人にタイムカードを配布する予定はない。なお、あくまでも授業優先でTAの業務にあたっていたきたい。

③ 出席確認を学生証やバーコード、QRに紐づける方が良い

意見に関する理由・経緯	いまだに学生が手書きで書いたものをエクセルなどに入力している、効率的な自動化が望まれる。
回答者	教務課
回答内容及び回答理由	対応済み・ 対応中 ・不可 学部の授業運用の特性に合うシステムの導入などICTの積極的な活用を現在検討中である。

④ 就職活動・社会接続に対する支援が欲しい

意見に関する理由・経緯	就活をしたいが、卒業生の情報が少なすぎる。先輩の就活体験談を聞きたい。インターンなどの席数が決まっている。インターンを充実させてほしい。可能であればインターンにおいて単位の認定を検討してほしい。1, 2年から就職活動や社会のことを学んで3年ではインターンに出たい。芸術系に特化したキャリアカウンセラーが就職支援の窓口いてくれると良い。
回答者	教務課, 就職指導課
回答内容及び回答理由	【教務課】 対応済み・ 対応中 ・不可 学科によってインターンシップを授業内容の一部に組み込んでいる学科別授業科目を開講している場合があるため、学科別授業科目のシラバスを確認いただきたい。 【就職指導課】 対応済み・ 対応中 ・不可 先輩の就活体験談については、毎年「就職活動体験報告会」を実施している。 また、1年生から受講できる「キャリアガイダンスⅠ～Ⅴ」は、日藝に入学した意義、自己分析の方法、仕事に必要な能力等を講座及びグループワークを通して学ぶ講座を実施しており、インター

	ンシップ前にぜひ受講いただきたい。 なお、芸術学部学生に特化したキャリアカウンセラーも窓口を設置している。
--	--

⑳ 留学生関連事案です！

意見に関する理由・経緯	留学生就職講座はいい講座が多いので、もっと増やしてほしい。
回答者	就職指導課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・不可 令和7年度は、令和6年度より1回多い、全3回の留学生就職ガイダンスを実施した。今後、開催回数をさらに増やすかについては、具体的な内容の要望があれば検討したい。

㉑ 就職，起業，納税，マナーリテラシーに関する講座の設置

意見に関する理由・経緯	芸術学部ならではの将来に対する不安は大きい。卒業して10年間ほどを見据えた指導が求められる。
回答者	就職指導課
回答内容及び回答理由	対応済み・対応中・不可 令和6年度より「フリー・起業家入門ガイダンス」を実施している。フリー・個人事業主等で働く場合の魅力や税務処理，注意点を講師が解説する講座を実施している。

以 上